

9 - 3 九州南部の地震活動 (2002 年 5 月 ~ 2002 年 10 月)

Seismic Activity in the Southern Kyushu District (May, 2002-October, 2002)

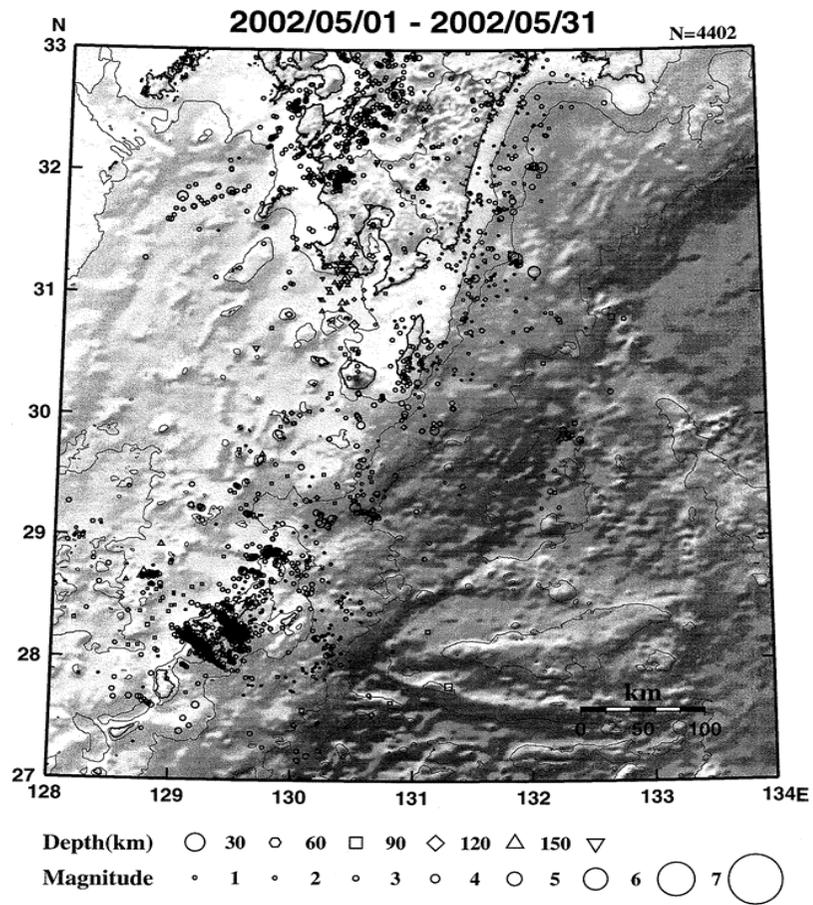
鹿児島大学 理学部

Faculty of Science, Kagoshima University

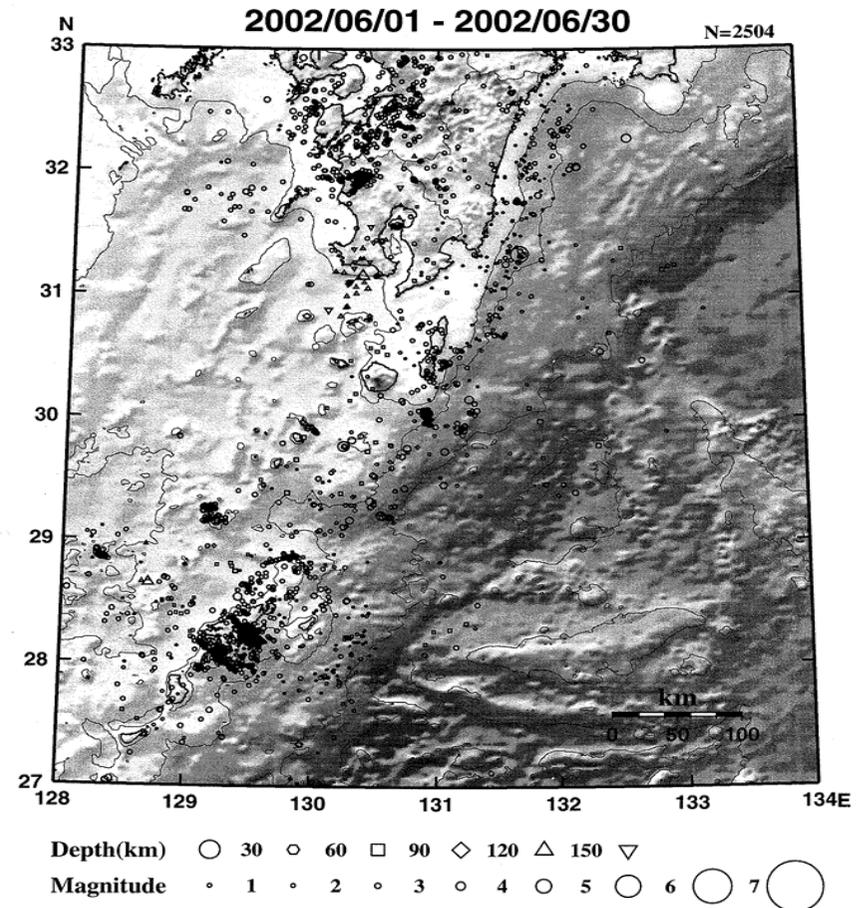
2002 年 5 月 ~ 2002 年 10 月の期間に震源決定された地震の各 1 ヶ月毎の震央分布を第 1 図 ~ 6 図に示す。さらに、第 7 図には 2002 年 5 月 ~ 2002 年 10 月に発生した主な地震のメカニズム解を示す。

この期間に発生した顕著な地震は、2002 年 10 月 25 日 23 時 40 分に発生した M5.7 の稍深発地震（震央は口永良部島付近、深さ 115km）、2002 年 7 月 16 日 4 時 58 分に日向灘中部で発生した M4.9、2002 年 6 月 18 日 16 時 58 分に日向灘南部で発生した M4.8 である。また、奄美大島南部では 2002 年 5 月 2 日 ~ 6 月中旬にかけて群発的活動が発生した。6 月中旬以降は散発的な活動が認められる程度に活動が低下した。2002 年 6 月 2 日 ~ 6 月 3 日の宝島付近、2002 年 6 月 30 日 ~ 7 月 1 日および 2002 年 8 月 17 日の種子島南方沖においても目立つ群発的活動が発生した。これらの他には、1997 年鹿児島県北西部地震の余震活動や奄美大島中部から南東沖にかけての地震活動が期間を通じて継続した。

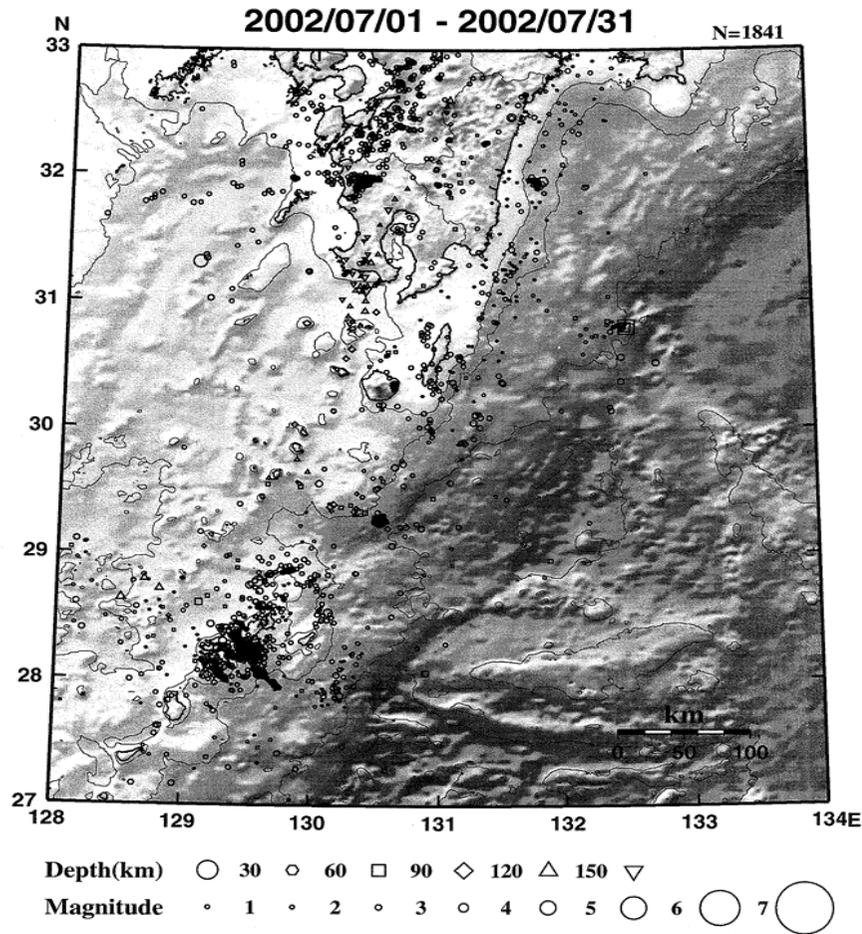
九州南部におけるこの期間の活動は、奄美大島付近を除いては比較的静穏であった。



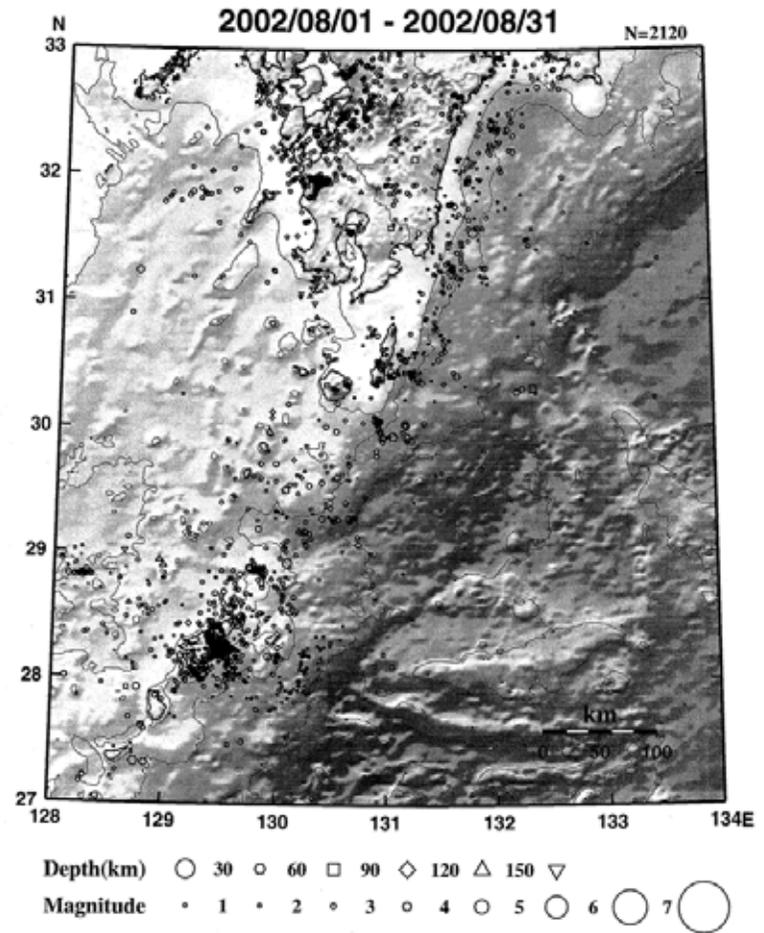
第 1 図 震央分布 (2002 年 5 月)
 Fig.1 Epicenter Distribution (May, 2002).



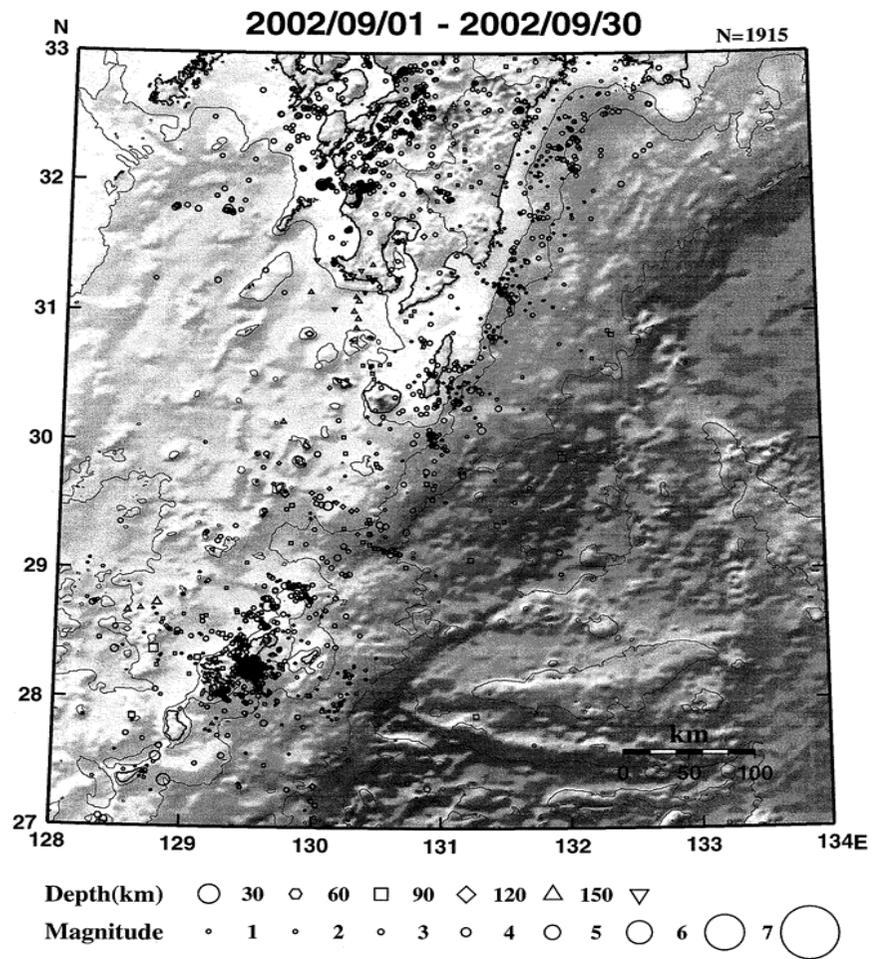
第 2 図 震央分布 (2002 年 6 月)
 Fig.2 Epicenter Distribution (June, 2002).



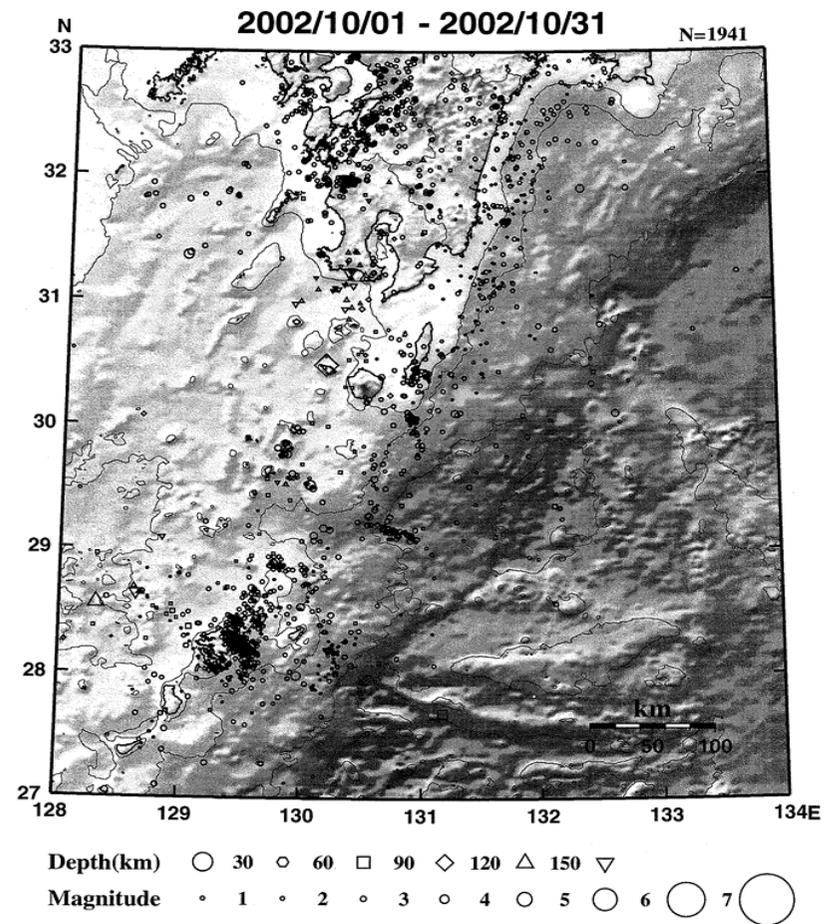
第3図 震央分布 (2002年7月)
 Fig.3 Epicenter Distribution (July, 2002).



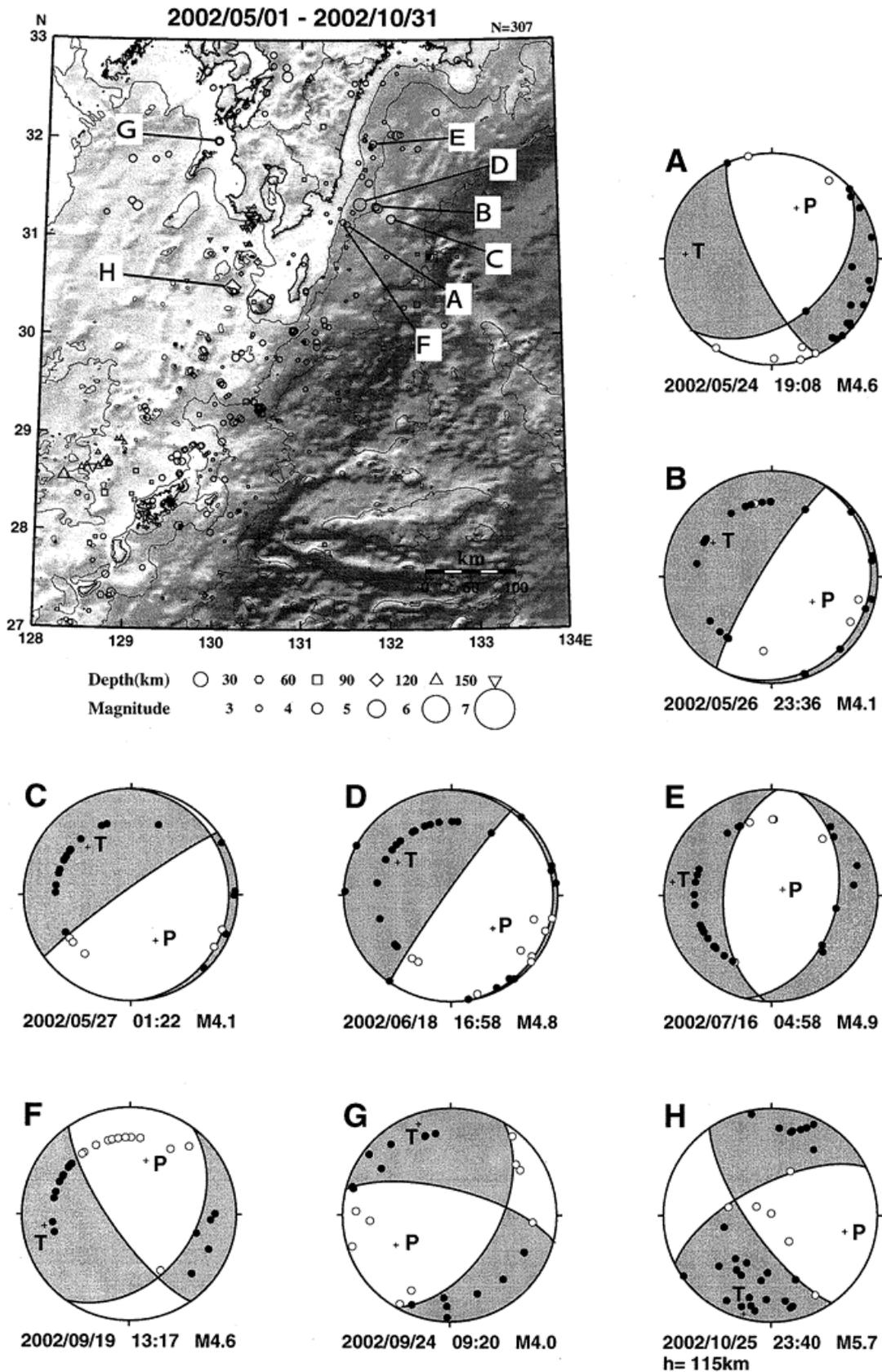
第4図 震央分布 (2002年8月)
 Fig.4 Epicenter Distribution (August, 2002).



第5図 震央分布 (2002年9月)
 Fig.5 Epicenter Distribution (September, 2002).



第6図 震央分布 (2002年10月)
 Fig.6 Epicenter Distribution (October, 2002)



第7図 主な地震のメカニズム解 (2002年5月~2002年10月, 下半球等積投影)
 Fig.7 Focal Mechanism Solutions of Major Earthquakes (May, 2002 - October, 2002, Equal Area Projection on the Lower Hemisphere).